

運輸安全マネジメントの取り組み

【2022年度（令和4年9月1日～令和5年8月31日）】

株式会社ロジネット 本社営業所

●事故防止のための安全方針

- ・安全第一をモットーに『5S』を全社員が正しく理解し、習慣づけ、安全最優先の企業風土を構築する。
- ・一級品質の総合物流サービス企業を目指す。
- ・常に防衛運転に努め、加害者にも被害者にもならない。
- ・「・・・だろう」でなく、「・・・かも知れない」という予測運転を常に実践する。
- ・「思い遣り」「譲り合い」の気持ちをもって安全運転に努める。

●社内への周知方法

- ・本社営業所の事務所内において、指定の場所に掲示する。
- ・対面点呼時や乗務員教育の際、全乗務員へ周知徹底を図る。
- ・アルコールチェックの結果、[0.00=ゼロ]以外（=少々感知）の乗務員は、即刻退勤を指示する。
- ・グループミーティングを適宜、開催し、周知徹底を図る。
- ・「安全運転五則」「乗務員の心得」を各自携行し、常に意識した行動をとる。

●安全方針に基づく目標

目 標	人 身 事 故	2022年度 目標 = 0件
	物 損 事 故	2022年度 目標 = 0件

●目標達成のための計画

- ・安全衛生委員会を毎月（1回以上）必ず、実施する。
- ・交通事故惹起者には、特定運転適性診断を速やかに受講させ、社長、運行管理者との面談・カウンセリングを実施する。
- ・運転適性診断受診計画の作成と実施。[実施後、速やかにカウンセリングを実施する]
- ・乗務員に対する指導・教育を継続し、知識の習得と安全意識の向上を図る。
- ・「2022年 安全教育実施計画表」をもとに教育指導項目①～⑫を毎月、確実に実施する。

●安全に関する情報交換方法

- ・グループミーティングにおいて、ヒヤリハット事案等、安全に関する情報・意見交換を実施する。
- ・年1回以上、個人面談を計画的に実施し、乗務員からの情報収集をすることにより、安全のために必要な情報を共有する。

●安全に関する反省事項

- ・2021年度のヒヤリハット報告を分析すると、安全確認不足・ヒューマンエラーによるヒヤリ事案が発生しており、減少傾向にない。
- ・昨年度に引き続き、漫然運転による追突事故に繋がる恐れがあったヒヤリ事案が発生している。
- ・冬期間中の路面凍結による転倒=ヒヤリ事案（無災害）が発生している。

●反省事項に対する改善方法

- ・2022年度、漫然運転やヒューマンエラーによる事故発生を撲滅するため、安全運転に集中出来るよう指導と環境整備を模索する。
- ・2022年度、事故防止のため、下記に記載した重点項目[4項目]を定め、常に安全意識の高揚を図る。
①後退時、安全確認の徹底 ②車間距離確保による追突事故防止 ③路面凍結による転倒事故防止 ④『ながらスマホ』を厳禁する。

●安全に関する目標達成状況

2021年度	目標	結 果	備 考
人 身 事 故	0件	0件	
物 損 事 故	0件	0件	

●自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する情報

2021年度 実績	事 故 発 生 件 数	0件	※自動車事故報告規則（H15.9.26改正国土交通省令第95号）第2条に定められた自動車事故（車両の転覆・転落・火災の発生、死者・重傷者・踏切事故の発生、積載物の飛散・漏えい、運転者の疾病による運行停止、制動装置・かじ取装置・車軸等の故障による運行停止など）
	事 故 の 種 類	—	
	衝 突 の 状 態	—	
	行 政 処 分 等	—	